

質 問	回 答
<p>1 共同研究チームとして海外メーカーの参加資格はあるか？</p>	<p>我が国の輸送は自律性の確保、即ち日本で自在に打上げができることが政策的指針になっております。また、海外との協議で安全保障の観点でのセキュリティを担保できるかも考慮していく必要があります。海外からでも上記確保が担保できるものでしたら、応募可能です。まずはRFIでご提案いただければ幸いです。</p>
<p>2 輸送事業者との意見交換会ではどのような議論をするのか？</p>	<p>RFIでご提供頂いた情報を基にJAXAが設定した研究課題について、研究の方向性を輸送事業者と意見交換致します。なお、RFIの技術情報はJAXAのRFP課題設定の関係者（外部委員含む／守秘義務あり）のみに開示し、直接、輸送事業者を含むJAXA外へ開示することはありません。</p>
<p>3 大学と企業で協力して実施の場合、入金先は代表者に一括入金、または分担比率に応じて各担当に振り分けられる、のいずれでしょうか？</p>	<p>複数者で協力して実施される場合、JAXAからそれぞれの機関に分担比率に応じて直接お支払いします。</p> <p style="text-align: right;">A改訂</p>
<p>4 間接経費の比率について教えてください。</p>	<p>本プログラムにおいて、間接経費の比率は、提案者機関の規定又は財務実績に準じて設定することが可能です。ただし、直接経費の10%を上限としてJAXAが査定した比率とさせていただきますことをご理解いただきたく存じます。</p> <p style="text-align: right;">A改訂</p>
<p>RFI（極低温対応バルブ）にエントリーさせて頂いたのですが、以下点についてお教え頂きたいをお願いします。</p> <p>1）1台のロケットに必要なバルブ（ソレノイド、調節弁）の台数</p> <p>2）2030年頃の初号機以降、年間何台ぐらいのロケットを製作する計画なのか？</p> <p>3）対応すべき法令・規格</p>	<p>1）高圧ガスの安全な取扱いや推力調整などの目的に、1台のロケットでは9箇所以上でバルブが設置されています。1箇所で1個のバルブを使用するとは限らず、信頼性の観点や1個当たりの価格の観点で複数個設置する可能性がございます。</p> <p>2）製作する基数に関しては、これからの機体再使用技術の成熟度や打上げ需要に左右されます。ご提案頂く技術も含め、今後システム検討を行い事業性の具体化を進めて参りたいと思っています。</p> <p>3）本募集では地上との共有利用を進めたい為、一般(地上)で利用する際の制度に従く事が重要と考えております。また、規格に関しては汎用性を重視したく、航空機で使われているモノなどをベースに考えています。</p> <p style="text-align: right;">A改訂</p>
<p>低コスト極低温対応バルブ（RFI）に申し込みをさせて頂いております。対象バルブを共同開発させて頂く、いくつか質問があります。</p> <p>1）開発終了後に、弊社が国内外の第三者にバルブを販売する事は可能でしょうか？</p> <p>2）その場合、軍事目的の輸出規制の対象になりますか？</p> <p>3）弊社の海外の技術者を含めた開発に問題がありますでしょうか？</p> <p>4）弊社の海外の拠点で製品または製品の一部を製作する事に問題がありますでしょうか？</p>	<p>1）可能です。共同研究での技術向上成果を是非、御社の地上産業拡大に活用頂ければ幸いです。</p> <p>2）特段、輸出規制の対象になる理由はございません。最終的には、貴社の海外渉外、法務等の窓口へご確認いただきますようお願いいたします。</p> <p>3）問題ございません。なお、米国の場合は技術情報の交換にあたりEARなど輸出管理関連法規のフォローをお願いいたします。</p> <p>4）問題ございません。貴社の海外渉外、法務等の窓口にご確認の上、日本及び各国の輸出入管理規則に従っていただきますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">A改訂</p>